

※1題あたり、発表15分 質疑5分

10月8日 (日)

時間	第1室 (301+302)	著者	タイトル	第2室 (308)	著者	タイトル		
8:30~	受付 @建築会館ホール前							
9:00-10:20	A-1 Design方法	○中村 陽、井上 全人	感性設計プロセスにおけるユーザーニーズと設計変数の関連強度指標の提案	A-2 Design実践	○横岩 良太、中山 慎太郎、清水 映輔	眼科領域における僻地医療とデジタルファブリケーション - Smart Eye Camera を例として -		
		●座長：大泉 和也(設計工学学会)	○畔柳 加奈子、金子 美子、瀬戸 友利恵、三上靖夫、梅本 明、西郊 靖子		○太田 裕通	設計教育におけるデザイン評価の可視化・マッピング手法の導入と有用性		
		●ディスカッサント：鈴木 杏奈(機械学会)	○高田 奈緒子、酒谷 幹将		●ディスカッサント：伊丹 弘美(建築学会)	○柳父 行二	発注者体験を課題に含む空間設計教育例-ワークテン集団接種会場設計計画	
10:30-12:10	B-1 Design方法	○風間 楓、酒谷 幹将	建築デザインの多義性を構成する対話のプロセスにおける言い換えの戦略	B-2 Design理論	○川合 康央	オープンデータPLATEAUとゲームエンジンUnityを用いた都市情報ビジュアライゼーションシステムのデザイン		
		○楠原 健太、長井 超慧	CTボリューム上の特徴線描画による直観的表現		○長谷川 諒、鈴木 杏奈、山口 純、高澤 由美、本江 正茂、伊藤 高敏	環境意識を高めるための体験型・対話型イベント設計：関係的経験価値の視点から		
		●座長：長井 超慧(精密工学学会)	○伊丹 弘美、和田 浩一		建築設計におけるデザイン目標の設定方法 - デザイン思考による設計デザインの目標	○山口 純、柳澤 秀吉、鈴木 杏奈	自由エネルギー原理に基づく設計プロセスのモデルの構築に向けて：C・S・パースの探究の理論を媒介とした検討	
		●ディスカッサント：太田 裕通(建築学会)	○黒石 悠、野間口 大、藤田 喜久雄		特許分類と概念距離に着目した形態分析法に基づく発想支援に関する研究	○荒川 百花、酒谷 幹将	多主体による対話のプロセスにおける飛躍を伴うデザインの提示とそこから広がるデザイン思考	
12:10-13:30	B-1 Design方法	○宮澤 健太郎、安藤 聖和、中川 裕介、井上 全人	設計意図を反映した評価指標に基づくロバスト設計手法の提案 - フロントサイドメンバの構造設計への適用 -	B-2 Design理論	○古屋 かほる、増村 陸、筒井 優介、下村 芳樹	多次元ベクトル表現に基づく設計概念の新規性評価手法		
		○原田 創之介、荒川 雅生、山本 真椰、勝又 暢久、竹内 謙善、平見 尚隆、中尾 彰吾、藤原 雅彦	言葉によるエンジニアリング - 言葉のトレードオフ関係を得る方法と分析 -		○小野里 雅彦	ものづくりのスキーマ転換期におけるデザイン		
		12:10-13:30	昼休み					
13:30-14:50	C-1 Design実践	○高野 佐代子、土田 義郎	インタラクティブアートを用いた朗読改善の試み	C-2 Design知識	○北 雄介、伊藤 洋志、福田 真澄、早川 貴光、櫻井 康平	変わり続ける社会-空間系の記述方法の探索 - タイ北部・ユースック村を事例として -		
		●座長：井上 全人(機械学会)	○林 瑞恵、西川 嘉樹、正木 哲、藤原 ひとみ、佐土原 洋平、梅本 政隆、松浦 克太、木村 篤信、中堂 優子、山内 泰、原口 悠		Well-beingな住まい・地域づくりに向けたデザイン実践 - 大牟田市の市営住宅でのリノベーションダメージを予防・軽減するための実践 -	○百瀬 萌、太田 裕通	ナラティブに着目した能動的体験デザインのための違和感に関する研究	
		●ディスカッサント：末包 伸吾(建築学会)	○森元 真理、三井 裕樹		都市および近郊の遊休草地で、人にもヒツジにも環境にも優しい空間をデザインする	○和田 浩一、林亮 佑、伊丹 弘美、高木 舜典	建築系学生の空間スケール感 - 図面のトレースによる空間スケール感の教育効果	
15:00-16:40	D-1 Design方法論	○並木 洋輔、菅根 順治	形状設計を支援する生成系CADの研究 - 自然言語による、人間の感性を反映した形状生成方法の提案 -	D-2 Design方法	○伊藤 雄飛、柳井 良文、本江 正茂	オンラインメディアにおける身体表象様式の伝播に関する研究 - ファッションショーの配信映像のシーン構成とSNS上のファッションコーディネート画像の投稿構成の比較より -		
		○村上 存、川島 青嶺、毛受 真史	言語情報処理による工学系・デザイン系の学生および生成系AIの発想の特徴解析		○瀬口 晶、大泉 和也	ユーザ自身による栄養のコントロールを可能とする献立推奨システムの開発		
		●座長：小野 健太(デザイン学会)	○増岡 亮、末包 伸吾、後藤 沙羅		ラファエル・モネオの1966年-2021年の建築思想と建築作品にみる【タイポロジー】に関する研究	●ディスカッサント：永盛 祐介(デザイン学会)	○孫 裕、木下 裕介、梅田 靖	シナリオ分析を用いた車載用電池循環ビジネス設計支援
		●ディスカッサント：関 博紀(建築学会)	○末包 伸吾、増岡 亮、後藤 沙羅		現代建築作品における「記憶」の概念の主題とその表象に関する研究 - 1968年以降の博物館・記念館・資料館の事例分析を通して -	○大久保 璃子、井上 全人	ユーザーニーズと設計仕様の関係性の可視化手法 - SNSのUI設計への適用	
17:00-18:00	D-1 Design方法論	○小村 遥香、酒谷 幹将	まちづくりの主体が持つクリエイティブ・コンフィデンスの形成プロセス - ヨコハマ市民まち普請事業を対象としたインタビュー調査とM-GTAを用いた発話分析を通して -	D-2 Design方法	○木村 拓海、長井 超慧	レンジデータの重ね合わせによるバスレーフ形状生成		
		○中島 拓也、村山 英晶、青山 和浩	自動運航船および実装メカニズムの多層的モデルベース設計手法の提案					
17:00-18:00	基調講演 渡邊 竜一「社会とつながるかたちの定義」 @建築会館ホール							
18:30-20:30	懇親会 @沖縄遊食 めんそーれ田町							

10月9日 (月・祝)

時間	第1室 (301+302)	著者	タイトル	第2室 (308)	著者	タイトル		
8:30~	受付 @建築会館ホール前							
9:00-10:40	E-1 Design方法論	○後藤 沙羅、末包 伸吾、増岡 亮	ジョン・ボーンソンの建築思想における【ミニマリズム】に関する研究 - 一言説およびイメージコレクションに着目して -	E-2 Design知識	○土田 義郎	カウンセリング空間として適切な環境条件 - 好ましい照度と光色について		
		●座長：木見田 康治(精密工学学会)	○小山田 圭吾		循環型社会のための製品を横断した構造共通化デザインの提案	○張 付新、川合 康央	道路ネットワークデータを用いた公的施設の可視化デザイン	
		●ディスカッサント：本江 正茂(建築学会)	○谷山 建作、澁江 秀明、柳澤 秀吉		操作主体感のデザインのための自由エネルギーモデル：遅延を伴う操作系を用いた検証	●ディスカッサント：近藤 伸亮(精密工学学会)	○鈴木 公明	国際デザイン賞受賞による企業価値変化
		○山根 信二	社会の中のゲームデザイン - ゲーム開発者教育の視点から		○佐野 翔哉、伊藤 拓海、高杉 優作、山本 右晃、関 博紀	コーヒー抽出技術にみる調整過程 - ハンドドリップコーヒー-31商品を対象とした商品分析とバリスタへのインタビューを通じた考察 -		
10:50-12:30	F-1 Design方法	○横内 丞以	身の回りのプロダクトのUSEをPLAYにする方法の研究と、その価値の提案 - "USE"と"PLAY"の正体	F-2 Design実践	○田中 栄治	西澤文隆の庭園研究における建築の視点に関する研究 - 桂離宮意匠論の比較を通して -		
		○清水澤 義和、松田 珠里、山内 智幸、井上 全人	モーションキャプチャによる動作解析に基づくユニバーサルデザイン手法の提案		○毛利 洋子、岡松 道雄	歩行空間に自然要素を眺望する仰観景が取り込まれる可能性 - 長崎市「まちぶらプロジェクト」まちなか軸を対象として -		
		●座長：荒牧 英治(人工知能学会)	○本江 正茂、柳井 良文、門脇 俊亮		プロ野球の多視点ライブ配信における映像選択行為に関する研究	○栗山 尚子	郊外住宅団地の再生に向けた外部空間整備活動の実態と課題 - 神戸市北区有野台団地を事例として -	
		●ディスカッサント：正木 哲(建築学会)	○飯濱 由樹、酒谷 幹将		MASを用いた偶発的な視覚的関係の発生を促す建築空間の分析	○眞所 最、後藤 浩二	Generative Designを活用した軽量化ロボットアームの開発	
12:30-13:50	F-1 Design方法	○岡村 千咲、辻 彩英子、王 瀚飛、原法義、筒井 優介、下村 芳樹	ジョブ理論に基づくサービス利用文脈の構造化手法	F-2 Design実践	○中西 宣人、武藤 紗貴子、武藤 崇史、西山 佳余	自閉スペクトラム症児童を対象とした、遊びから演奏へと促す楽器デザイン		
		○中江 哲、末包 伸吾、増岡 亮、後藤 沙羅	中高一貫校建築作品における空間類型の抽出：「学校建築の大規模化・中層化」に対応する設計手法に関する研究		○樋口 貴彦、大和田 卓、齋藤 遼、村上 翔	貫構法によるサステイナブルな仮設構造物の提案及び性能の検証 - 八ヶ岳山麓における木遣り台の循環利用		
		12:30-13:50	昼休み					
13:50-15:10	G-1 Design実践	○諸橋 利奈、江藤 翔太、内田 隼人、湯俊傑、加藤 健郎、西村 秀和、鳥谷 真佐子	スマートオフィスの要求分析と着座姿勢センシングシステムのデザイン	G-2 Design知識	○太幡 英亮、山下 美桜	オールジェンダートイレの平面計画と評価に関する研究 - 男女トイレとの一体型・分離型図面を用いたアンケートから -		
		●座長：青山 和浩(機械学会)	○山田 くるみ、正木 哲、平田 裕次、林瑞恵、西川 嘉樹、中堂 優子、原口 悠		思い出の家具を新しい生活につなぐためのデジファブ・リメイクプロジェクト - 環境移行後のリノベーションダメージ軽減支援としての実践 -	○木村 篤信、新井田 統、長島 洋介、白井 洗祐、赤嶺 侑里香	リビングラボプラットフォームの実践知共有フレームワーク：リビングラボ変奏	
		●ディスカッサント：山田 哲弥(建築学会)	○吉永 悠真、栗山 尚子		鉄道高架下空間の開発・運営手法に関する研究 - 京阪神地区の連続立体交差事業による高架下空間を対象として -	●ディスカッサント：樋口 貴彦(建築学会)	○近藤 伸亮、成宮 大翔、馬 国勝、梅田 靖、西尾 匠弘、横野 浩司	CADモデルを援用したエンジニアリングプロセス保存手法の提案
15:20-17:20	G-1 Design実践	○緒方 千華、正木 哲	空き施設を地域交流拠点として利活用するためプロセス・デザイン - デジタルファブリケーション技術を活用した実践報告 -	G-2 Design知識	○川村 泰生、原 辰徳、太田 順	大規模言語モデル(LLM)を用いたDiX学習支援の基礎的検討		
		15:20-17:20	パネルディスカッション「情報と都市」 @建築会館ホール					